2018 年 11 月 7 日 No.59

被災地と、みんなを結ぶ

つながろう！絆・連合

発行 ： 連合（総合組織局・連帯活動局）
電話 03-5295-0513 FAX 03-5295-0547 rentai@sv.rengo-net.or.jp
日本労働組合総連合会（連合） http://www.jtuc-rengo.or.jp/

第 12 回　被災４県地方連合会 事務局長との意見交換会開催

～大阪北部地震、西日本豪雨災害、北海道胆振東部地震の被災地からも報告～

2018年 11 月7日（水）、連合本部において第 12 回「被災４県地方連合会事務局長との意見交換会」を開催しました。

第 11 回に続き、西日本豪雨災害、北海道胆振東部地震の被災地として連合岡山、連合広島、連合愛媛、連合北海道の各事務局長に出席いただくとともに、６月 18 日に発生した大阪北部地震の被災地から連合大阪の事務局長に出席いただきました。

なお、次回から「被災４県地方連合会事務局長との意見交換会」を「被災地地方連合会事務局長との意見交換会」に名称を変更し開催します。

《出席者》

連合岩手：佐藤事務局長　連合宮城：大黒事務局長　連合福島：加藤事務局長
連合熊本：佐々木事務局長
連合大阪：田中事務局長
連合岡山：難波事務局長　連合広島：山﨑事務局長　連合愛媛：菊川事務局長
連合北海道：杉山事務局長
連合本部：山本副事務局長、山根木総合組織局長
経済政策局：春田局長（オブ）、中村部長
連帯活動局：森局長、佐藤次長、他１名

*** *** *** *** *** *** *** *** *** *** *** *** *** *** *** *** *** ***

冒頭、連合本部より山本副事務局長が「今も住宅や法律に関わる相談などが多くあると聞いている。災害のたびに被災地が増える中、災害を経験したみなさんだからこそ伝えられることがある。意見交換を重ね今後の防災について考えていきたい。」と挨拶しました。その後、各地方連合会から現状報告を受け意見交換を行いました。事務局から連合本部の取り組みについて、また経済政策局から被災地ヒアリングについての説明を行い、最後に次回の開催について確認し終了しました。

《各地方連合会からの現状報告（要旨）》

◆連合大阪　田中事務局長◆

○これまでの支援に感謝申し上げる。連合大阪としては自然災害発災時のマニュアルに基づき対応を図った。被害が大きかった高槻市へ述べ 135 人のボランティアを派遣し、復旧作業の他に社会福祉協議会の作業も手伝った。また、この間、大阪では 100 以上の団体で構成する「大阪災害支援ネットワーク」の中で、情報共有や連携を図り支援の必要な地域を確認し対応を進めている。

○大阪でも大きな被害が出た台風 21 号については、近畿ブロックの連帯担当者委員会を開催し被害状況の集約を図ってきた。インフラ面では電力の復旧が終わったばかり。今後状況を把握しながら近畿ブロックとして引き続き状況を把握し対応していく。

◆連合岡山　難波事務局長◆

○真備地区の避難所は閉鎖され仮設住宅で生活されているが、復興にはほど遠い状況。水没した家屋のカビ対策に苦慮されており、ボランティアには専門性が求められている。

○県や各市町村に対しては防災・減災対策の課題を踏まえ政策制度要求を提出し今後回答を受ける予定。

○構成組織の依頼を受けて安全衛生担当の研修会で今回の経験を語り部として講演、後世に伝える取り組みとして今後も継続していく。

○県に義援金の贈呈を予定。みなさんの気持ちを届けたい。

＊-＊-＊-

◆連合岩手　佐藤事務局長◆

○これまで仮設住宅について延長を繰り返してきたが退居期限が過ぎても再建先が決まらない方が 34 世帯となっている。高齢者施設を希望しても空きない、頼れる家族がいないなど理由も様々だが、仮設住宅が劣化していることから、自治体は再建先が見つかるよう支援を継続している。
○県内の児童養護施設などへの支援金の贈呈について連合東京岡田会長から直接施設へ手渡され、支援先から感謝の言葉をいただいた。

＊-＊-＊-